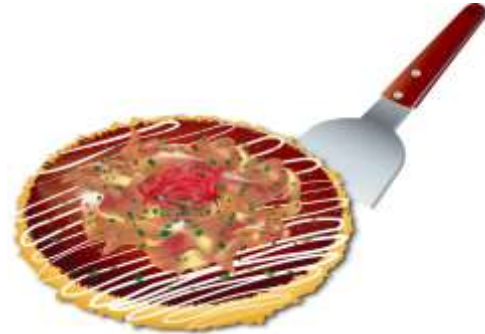


親の会バザー

11月3日(土)に竹の塚センターにて「親の会バザー」が行われました。谷在家施設からは恒例の「やじゃいけ(お好み焼き)」を販売致しました。当日は天候にも恵まれ、とても活気のあるバザーでした!「やじゃいけ」は大繁盛の中、午後1時には完売となりました。掲げられたスローガンに向け、職員が一丸となって協力し合い、親睦を深められる場となりました。

記:藤森



編集後記

12月と言えば「師走」。師走の師と言うのはお坊さんのことを指すそうです。昔、一年の節目である年末年始には、ご先祖様にお経をあげる習慣が各家庭であつたらしく、家々を回る為に街中をお坊さんが走り回るところから師走という字をあてたようです。

記:平岡

今月のボランティア

11月は福祉園で3名のボランティアの方にご協力いただきました。

いつもありがとうございます。
これからもどうぞよろしくお願い致します。



社会福祉法人 あだちの里 谷在家障がい福祉施設

〒123-0863 足立区谷在家3-13-1

電話 03-3853-0632 FAX 03-3857-5626

ホームページ <http://www.a-sato.jp/>



さんふらわ~

谷在家障がい福祉施設

- ・谷在家福祉園
- ・谷在家福祉作業所
- ・谷在家デイサービスセンター

鹿浜第一小学校なかよし学級交流会

11月22日(木)、鹿浜第一小学校なかよし学級から24名の生徒さんと学校長をはじめ5名の教員のみな様がお見えになりました。

福祉作業所では、布きん干し作業などを見学されました。不良品をより分ける際のポイント等の説明について、興味深く聞き入る姿がみられました。口々に点検方法を繰り返す場面もあり、ご本人方の熱心がとても良く伝わりました。



福祉園では、割りばしの袋入れや近隣のお宅から回収した古紙類の分別などの作業体験を行いました。皆さんは初めてにもかかわらず驚くほどの手捌きで作業を楽しまれていました。

また、紙すき体験では、素材そのものと製品とを見比べたり、実際に手で触れたりの違いを確かめるように関心を高められていました。



私たち谷在家障がい福祉施設では、これまでも3年に一度、鹿浜第一小学校との交流会を行ってきました。

このような機会を今後も大事にしていきたいと思ひます。

記:飯島

谷在家デイサービスセンターより

谷在家デイサービスの作品を、区役所で行われた障がい者週間記念事業「障がい者アート展」に出展しました。

利用者のみなさんが日頃の活動で制作した作品を出来るだけ多く展示しました。

写真は、書道の活動のみなさんの合作で、中島みゆきさんの「糸」という歌の歌詞を、全員で分担して書きました。

記：平岡



谷在家福祉作業所より

例年、押皿谷住区センターの「住区センター祭り」に音楽クラブが参加しています。今年は「ヤングマン」と「たんぽぽ」を唄いました。

皆さん一生懸命練習にはげみ、当日は緊張されながらも楽しく唄うことができました。

また、来年度に向けても練習を頑張りますので、応援よろしくお願いします。

記：山本



谷在家福祉園より

11月8日からの一泊二日、茨城県まで足を運び、のどかな地での宿泊活動を行いました。初日はスイートポテトづくりに挑戦！ご利用者と職員が協力して取り組み、様々な形をした世界に一つだけの『スイーツ』が完成しました。2日目はあいにくの雨模様で、当初の予定を変更し、大洗水族館に行ってきました。たくさんの魚やアシカのショーを鑑賞し、最後はお土産を購入して帰路につきました。

記：今立



谷在家障がい福祉施設歯科健診

11月22日(木)に歯科健診が行われました。利用者のみなさんにとって年に一度のことですが、それほどの不安や緊張されることなく、スムーズな健診となりました。

保健室内ではご利用者同士が気づかいされている様子で、ご自分の順番を待つ間はそわそわしながらも落ち着いてお待ちくださいました。

診断結果は、虫歯または虫歯になりそうな方が49名中15名いらっしゃいました。虫歯以外には、歯肉炎や歯石のある方もおられました。

虫歯予防にはプロのケアも大切です。1年に2回程度、自分では磨きにくい隅々の汚れや、歯周病の原因となる歯石の除去を行なえる専門家のチェックを受けることをお勧めします。

記：梁川



合同防災避難訓練

11月20日(火)に谷在家障がい福祉施設合同の避難訓練を実施しました。震度5の地震が起き、その後、谷在家福祉作業所せんべい室から火災が発生したとの想定のもと、谷在家北公園に避難しました。

このところ、地震が多数発生している事もあり、ご利用者、職員ともに放送をしっかりと聞くことや、落ち着いて行動することを意識しながら参加することが出来ました。

大地震はいつ起きてもおかしくない状況です。有事の際に冷静に対応できるように、今後も定期的に訓練を行う予定です。

記：須藤

